

**「神奈川県高齢者万引き防止プログラム」策定
における冊子及び動画の効果検証に関する報告書**

令和3年3月31日
高齢者万引き防止プログラム策定委員会

はじめに

2019年における全刑法犯の認知件数は約74万8,000件で戦後最少を更新する一方、高齢者が検挙される割合は前年からさらに増加。検挙人員数全体の22%、およそ5分の1が高齢者です。高齢化の進展によって高齢者人口が増える中、高齢者による犯罪の割合が増え続けています。

(出典:『2020年版警察白書』)

なかでも、高齢者が最も多く検挙されている犯罪は「万引き」です。2020年、神奈川県内における万引き被疑者の検挙人数は2,908人。うち高齢者は1,292人で総検挙者数の半数近くを占めています。しかも、高齢者の再犯者率は65.9%と高い傾向にあります。

出典:『神奈川県における万引き犯罪状況』(2020年 神奈川県警察本部調べ)

万引き被疑者の再犯者率(令和2年12月末)

	成人		少年 (犯罪少年)
		うち高齢者	
検挙人員	2,908	1,292	257
再犯者数	1,884	851	68
再犯者率	64.8%	65.9%	26.5%

※「再犯者率」とは、検挙人員に占める再犯者の割合をいい、過去の罪種は問わない。

※「犯罪少年」とは罪を犯した14歳以上20歳未満の少年をいい、触法少年は含まない。

そのような憂慮すべき近年の状況に対処するため、神奈川県では、平成30年から国の地域再犯防止推進モデル事業として、高齢者万引き防止プログラム策定等事業を実施してきました。本会は神奈川県から本事業の委託を受け、高齢者万引き防止プログラム策定委員会を開催し、高齢者万引きプログラム(以下「プログラム」という)策定に向けた検討を行うとともに、より実効性のあるプログラム策定にあたりその完成に向け、冊子及び動画による検証を行いました。令和2年度は、国モデル事業の最終年度であり、冊子及び動画の効果検証結果に関する報告書をまとめ、プログラムを完成しました。

そうしたなか、昨年来のコロナ禍において神奈川県内における犯罪数がトータルとして減少に推移する一方、万引きだけは昨年 10 月末時点で前年比プラス 287 件と激増しています。その要因として、コロナ禍による経済的な困窮や、不要不急の外出自粛などをきっかけに、一人暮らしの高齢者が孤独感に陥ることなども影響していると思われまます。さらに、レジ袋の有料化に伴うエコバッグの利用も万引き増加の要因となるなど、社会情勢の変化に伴い万引きの実態も絶えず変わりつつあります。

こうした状況下、この活動は大きな意義を持つと同時に、当報告書の内容を踏まえながら、今後も本テーマに対するフォローについて注力していく必要を痛感する次第です。

1. 冊子及び動画について

(1) 冊子の構成・ポイント

【全体構成】

オールカラー8ページ B5 サイズ

① 表紙（タイトル）

あなたはひとりぼっちじゃない。

② 1-2 ページ

窃盗罪、賠償請求、
被害者・家族・周りの人の思い

③ 3-4 ページ

逮捕後の流れ、出所後の人生

④ 5-6 ページ

暮らし方の見直し
地域の居場所作り

⑤ 裏表紙（相談連絡先）

生活に関する不安や悩み相談先
万引きに関する相談先
関連情報検索のための QR コードを掲載
読み込むことで“高齢者万引きプログラム“のページへ誘導

【ポイント】

万引きという犯罪の罪の重さを理解してもらうとともに、再び万引きを起こさないためにはどうしたらよいかを、イラストや図表等をまじえながらわかりやすく解説。

(2) 動画の構成・ポイント

【全体構成】

視聴対象者である万引きをした高齢者の生活環境に合わせて、「単身者編」と「家族同居編」の2作品を作成。

それぞれ約 11 分のドラマ形式で、万引きをして逮捕された主人公が警察での取り調べを受けるなかで、万引きをされた店側の立場や思い、万引きという犯罪の量刑を知り、その後、家族や周囲の支援も受けながら再犯をしないと意思を新たにする様子を描いた作品。

【ポイント】

万引した高齢者の目線でドラマを描くことで、万引きをしてしまった主人公に被疑者自身が自分自身を重ね合わせながら、罪の重や逮捕後の生き方を疑似体験できる構成・演出を採用。

2. 検証目的

万引きした高齢者が、冊子や動画を観ることにより、万引きは重大な犯罪であること
の理解を深め、再犯防止につながる意識を向上させることなどの効果を検証する。

3. 検証の実施

(1) 冊子の検証

【被疑者へのアンケート】

① 実施対象

高齢(60歳以上)の万引き被疑者

② 実施数

85名

③ 実施場所

神奈川県内の全54警察署

④ 実施期間

令和元年3月～令和3年1月

⑤ 実施方法

上記の実施場所に対して、冊子を計1,250部送付。警察署内での取り調べ
後、家族等の引き取りまでの時間を用いて被疑者に対して冊子を配布し、読
後にアンケートを記入してもらった。

アンケートはその場で警察官(生活安全課)が回収。その場に立ち会う警察
官に対しては、対応の注意点について記載した手引書を配布するとともに、
冊子を読んでいる時及び読後の被疑者の様子等について気づいた点があれば、
アンケート回収後、アンケートの備考欄に記入してもらった。

⑥ アンケート内容

(被疑者の属性)

・性別/・年齢/・家族構成/・万引き回数

(内容は理解できましたか)

・よくわかった/・少しわかった/・あまりわからなかった/・わからなかった

(印象に残ったページはどこですか)

・表紙/・2ページ/・3ページ/・4ページ/・5ページ/・6ページ/・7ページ

(万引きは重大な犯罪であると理解しましたか)

・よくわかった/・少しわかった/・わからなかった

(捕まると何が待っているか理解しましたか)

・よくわかった/・少しわかった/・わからなかった

(暮らし方を見直したいですか)

・思った/・少し思った/・思わなかった

(地域の方が集う場所に行きたいですか)

・思った/・少し思った/・思わなかった

(相談先に相談したいですか)

・相談したい/・相談したくない/・わからない

(以前この冊子を観たことがありますか)

・観た/・観た事ない

※当質問のみ令和3年1月15日のアンケートに追加

(冊子を読んで心に残っている言葉はありますか)

・自由記入

(備考欄)

・アンケートに立会った警察官が、冊子を読んでいる時及び読後の被疑者の様子等について気づいた点を記入

【被疑者アンケートを実施した警察官へのヒアリング】

① 実施対象

被疑者に冊子のアンケートを行った際に対応した警察官のうち、アンケートの警察官記載欄に有意と判断される感想を記入した警察官

② 実施数

5名

③ 実施場所

平塚署、藤沢署、秦野署、大磯署、戸塚署、川崎臨海署、戸部署の7警察署

④ 実施期間

令和2年12月～令和3年1月

⑤ 実施方法

アンケートに立ち会った警察官に、備考欄に記載した内容を元に電話によるヒアリングを実施。

⑥ ヒアリング内容

(冊子の感想をお聞かせください)

・気に入ったページはありましたか
・反対に気になったページはありますか

(冊子を渡すタイミングは気を使いますか)

・どのようなタイミングが良いと思われますか
・渡す時、どのような言葉を掛けられますか

(読んでいるときの対応は)

・同席されますか
・表情は気になりますか
・印象的な表情がありましたか

(冊子の効果は)

・冊子があるのと無いのでは如何でしょうか
・読まれた後、どのような言葉を掛けますか

(冊子の活用範囲の拡充)

・冊子の改善点、活用方法のご意見があればお聞かせください

(2) 動画の検証

【被疑者へのアンケート】

① 実施対象

高齢(60 歳以上)の万引き被疑者

② 実施数

33 名

③ 実施場所

神奈川県内の 8 警察署

④ 実施期間

令和元年 3 月～令和 3 年1月

⑤ 実施方法

検証場所の各署に、動画 DVD(単身者編、家族同居編各 1 枚)及び再生用ポータブル DVD プレーヤー1 台)を送付。署内で取り調べ後、家族等の引き取りまでの時間に、対象者に動画を視聴してもらい、視聴後にアンケートを記載してもらい。アンケートはその場で警察官(生活安全課)が回収。

その場に立ち会う警察官に対しては、対応の注意点について記載した手引書を配布するとともに、動画を視聴している時及び視聴後の被疑者の様子等について気づいた点があれば、アンケート回収後、アンケートの備考欄に記載をしてもらった。

⑥ アンケート内容

(被疑者の属性)

・性別/・年齢/・家族構成/・万引き回数

(主人公に共感できましたか)

・はい/・いいえ

(万引きは重大な犯罪であると理解しましたか)

・よくわかった/・少しわかった/・わからなかった

(捕まると何が待っているか理解しましたか)

・よくわかった/・少しわかった/・わからなかった

(暮らし方を見直したいですか)

・思った/・少し思った/・思わなかった

(地域や家族のつながりが大切だと思いますか)

・思った/・少し思った/・思わなかった

(地域や家族に関わってみたいですか)

・思った/・少し思った/・思わなかった

(以前この動画を観たことがありますか)

・観た/・観た事ない

※当質問のみ令和3年1月15日及び同月25日のアンケートに追加

(動画を観て印象に残ったシーンはありますか)

・自由記入

(視聴しての感想をお書きください)

・自由記入

(備考欄)

・アンケートに立会った警察官が、動画を視聴している時及び視聴後の被疑者の様子等について気づいた点を記入

【被疑者アンケートを実施した警察官へのヒアリング】

① 実施対象

被疑者に動画のアンケートを行った際に対応した警察官のうち、アンケートの警察官記載欄に有意と判断される感想を記入した警察官

② 実施数

3名

③ 実施場所

平塚署、藤沢署、秦野署、大磯署、戸塚署、川崎臨海署、戸部署の7警察署

④ 実施期間

令和2年12月～令和3年1月

⑤ 実施方法

アンケートに立ち会った警察官に、備考欄に記載した内容を元に電話によるヒアリングを実施。

⑥ ヒアリング内容

(動画の感想をお聞かせください)

- ・気に入ったシーンはありましたか
- ・反対に気になったシーンはありますか

(動画を見せるタイミングは気を使いますか)

- ・どのようなタイミングが良いと思われませんか
- ・見せるタイミングは気にしますか
- ・その時の言葉を教えてください

(見せているときの対応は)

- ・同席されますか
- ・表情は気になりますか
- ・印象的な表情がありましたか

(動画の効果は)

- ・動画があるのと無いのでは如何でしょうか
- ・見せた後、どのような言葉を掛けますか

(動画の活用範囲の拡充)

- ・動画の改善点、活用方法のご意見があればお聞かせください

4. 検証結果

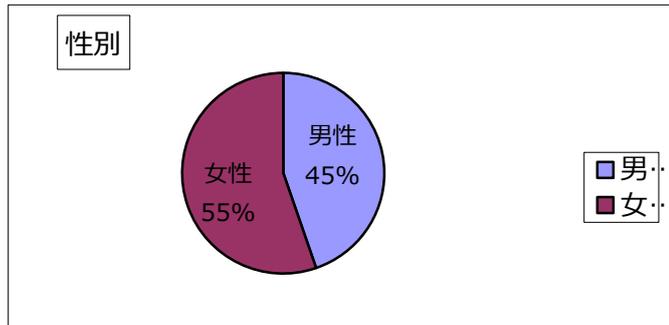
(1) 冊子について

【被疑者へのアンケート集計結果】

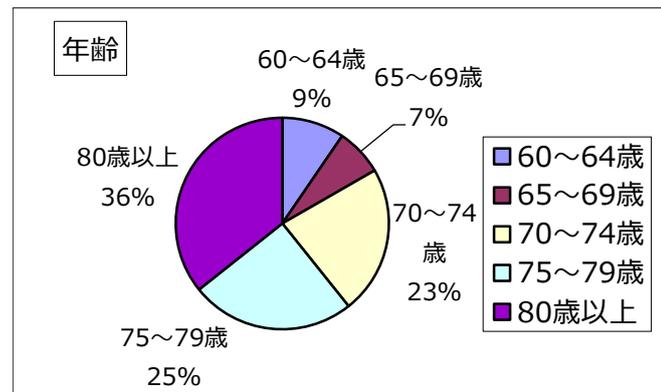
アンケート回答数 85

万引き被疑者に対するアンケートをもとに作成

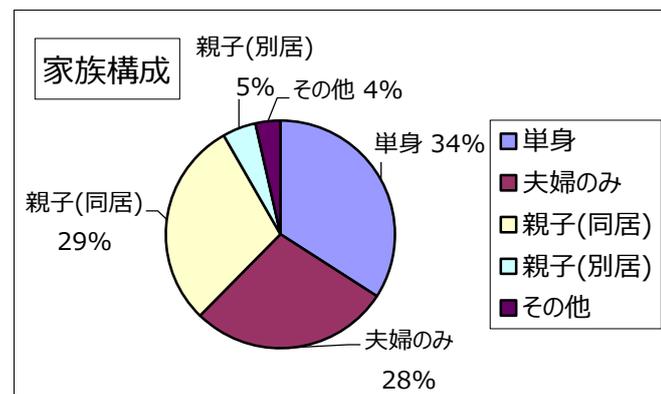
性別	男性	女性
	38	47



年齢	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上
	8	6	19	21	30
年齢	無回答				
	1				

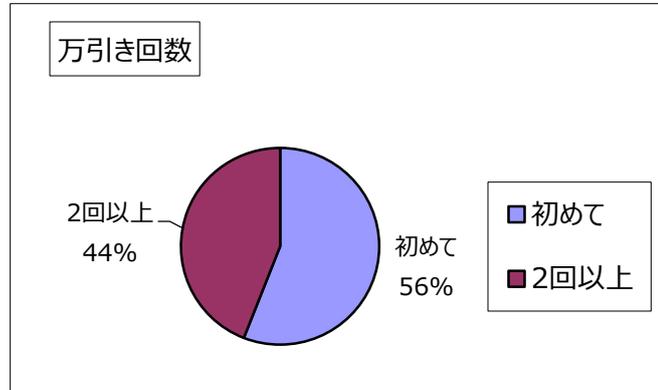


家族構成	単身	夫婦のみ	親子(同居)	親子(別居)	その他
	29	24	25	4	3



万引き回数	初めて	2回以上	無い
	47	37	1

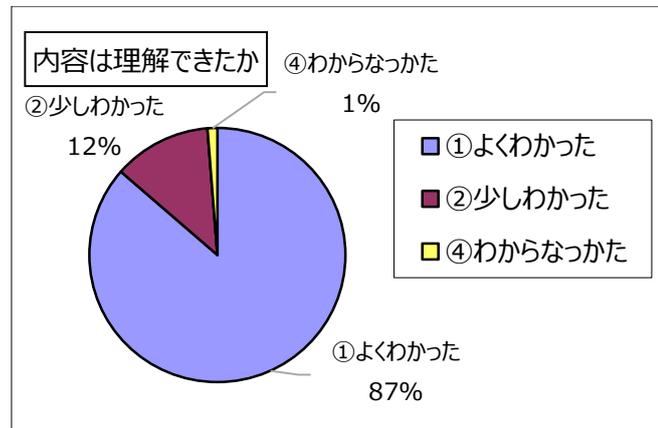
※「無い」は、アンケートの受領拒否者



内容は理解できたか	①よくわかった	②少しわかった	③あまりわからなかった	④わからなかった
	70	10	0	1

内容は理解できたか	無回答
	4

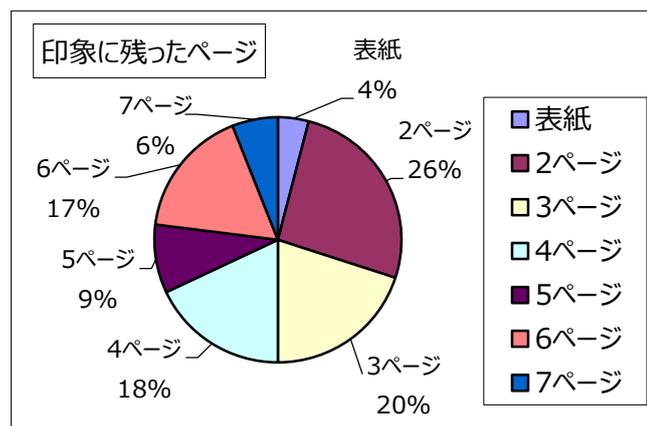
※④は認知症と申告



印象に残ったページ	表紙	2ページ	3ページ	4ページ	5ページ	6ページ	7ページ	裏表紙
	4	26	20	18	9	17	6	0

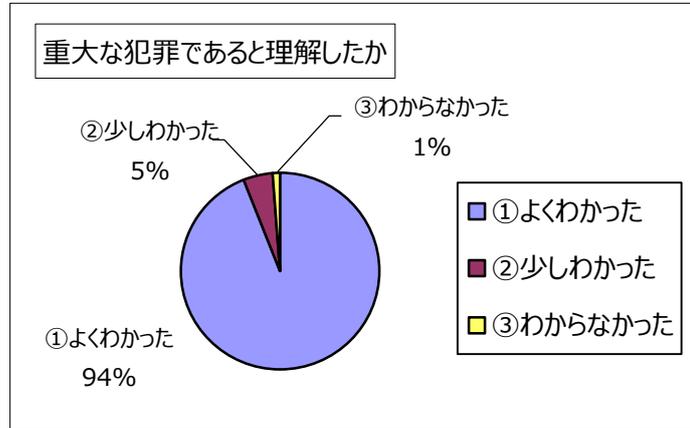
印象に残ったページ	無回答
	1

※複数の選択可で、101回答分を分母にして計算

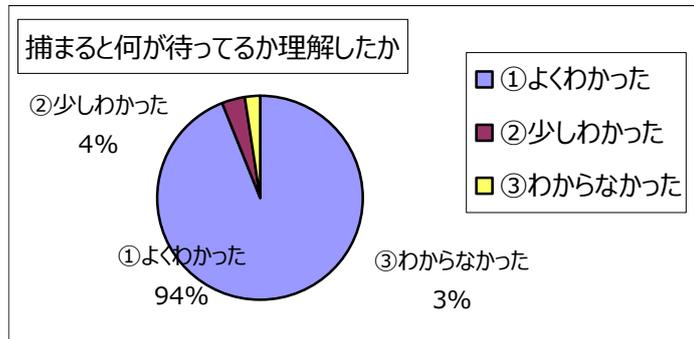


重大な犯罪だと理解したか	①よくわかった	②少しわかった	③わからなかった	④無回答
	78	4	1	2

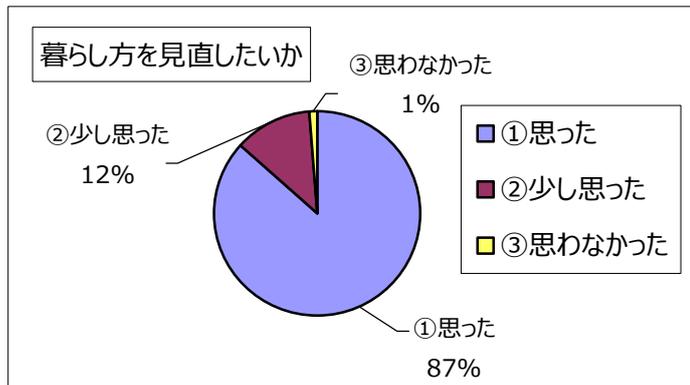
※③は認知症との申告
 ※④は受領拒否と無回答



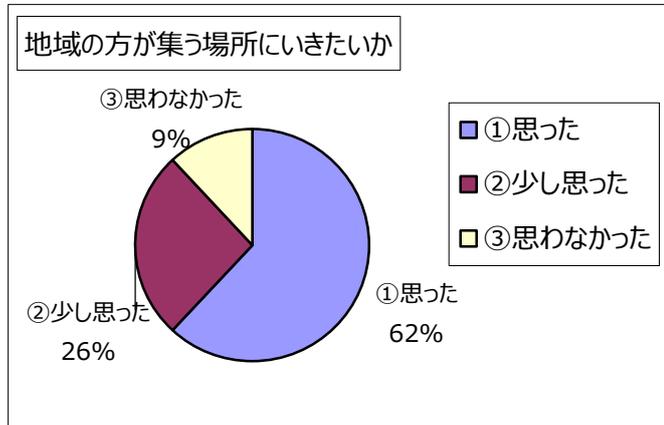
捕まるとどんなことが待っているか理解したか	①よくわかった	②少しわかった	③わからなかった	④無回答
	78	3	2	2



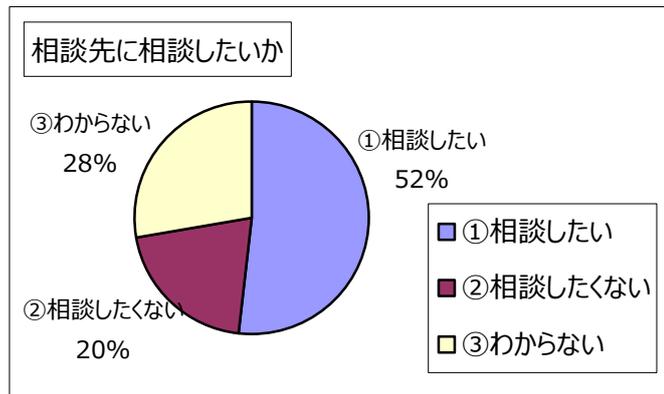
暮らし方を見直したいか	①思った	②少し思った	③思わなかった	④無回答
	71	10	1	3



地域の方が集う場所に行きたいか	①思った	②少し思った	③思わなかった	④無回答
	52	22	10	1

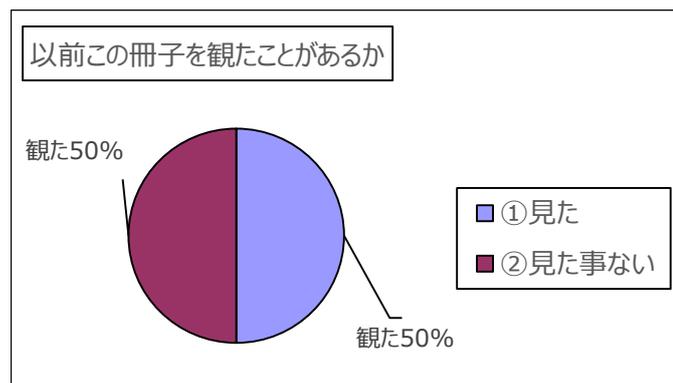


相談先に相談したいか	①相談したい	②相談したくない	③わからない	④無回答
	43	17	23	2



以前この冊子を観たことがあるか	①観た	②観た事ない
	1	1

※1/15 に追加した当質問に対する
2名の回答



被疑者のコメント(心に残った言葉)

・二度としない事。	1名
・万引を何度も繰り返していると刑務所に送られる。	1名
・逮捕	1名
・窃盗罪	7名
・繰り返さない、家族に迷惑がかかる。	1名
・出所後に待っているのはつらい人生です。	5名
・繰り返さない。	10名
・一人でない事。迷惑をかける事。	1名
・家族や周りの人々に迷惑を掛ける。	6名
・後悔している。	4名
・地域に居場所を作りましょう。	3名
・被害者の思いを考えたことはありますか？	5名
・必ずできます！新たな人生の出発。	1名
・反省してます。	1名
・刑務所	1名
・全て通報。	1名
・閉店	1名
・周りの人達がショックを受ける。	1名
・家族や周りの人たちの思いを考えましたか？	1名
・家族について考えた。	1名
・精算前の商品をポケットやバッグに入れた段階で犯罪として成立します。	1名
・入りたくない。	1名

警察官のコメント(備考欄)

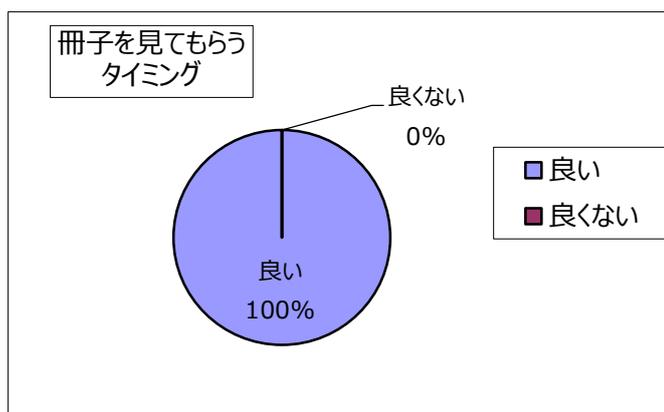
- ・興味深そうに読んでいた。(70～74歳)
- ・反省した様子で「本当にご迷惑をおかけしました。もう二度としません。」と申し立てた。(75～79歳)
- ・もうしないと後悔している様子。(75～79歳)
- ・常習性のある高齢者であり、家族に迷惑はかけられないので窓口等に相談してみようと思うとの回答があった。(65～69歳)
- ・もう二度としないと申し立てていた。(80歳以上)
- ・内容は理解したので冊子はいりません。(60～64歳)
- ・とても反省している様子でパンフレットを見ていた。(80歳以上)
- ・被疑者は、パンフレットを渡すと、熱心に読んでいた。(70～74歳)
- ・被疑者自身も罪の意識からか、繰り返さないという言葉が心に残っている様だった。(70～74歳)
- ・4ページ目を見て、「刑務所にはいきたくない」と表情を変えていた。(75～79歳)

- ・6 ページ目を見ながら「繰り返さない」と記載された箇所を何度も指さしていた。(80 歳以上)
- ・恐縮しながらパンフレットを読み、刑務所のページで「こんなことに」と驚いていた。(75～79 歳)
- ・相談先について、「相談した方が良いのか」と悩んでいた。(75～79 歳)
- ・冊子の説明で難しいと感じたことはなかった。(75～79 歳)
- ・受領拒否(70～74 歳)
- ・当人、非協力的であり不十分な聴取となったもの。(80 歳以上)
- ・本人、認知症と申し立て聴取不十分。(70～74 歳)
- ・素直に応じていた。(70～74 歳)
- ・しっかりと話しと聞き、反省している様子だった。(70～74 歳)
- ・パンフレットを読みながら、しっかりと話して聞いていた。(80 歳以上)
- ・陽気に自己等の身上等を話していた。(60～64 歳)

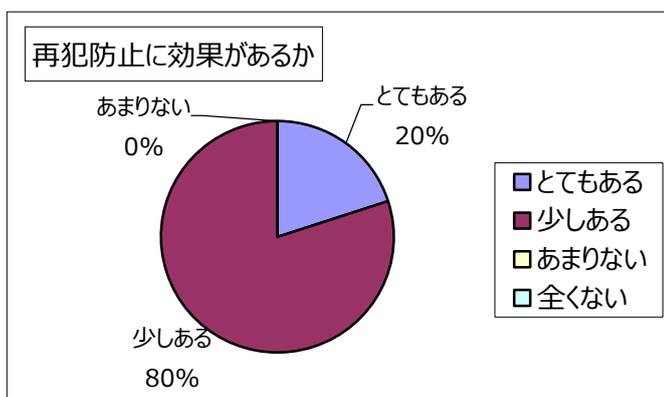
【警察官へのヒアリング集計結果】

ヒアリング件数 5
警察官への電話によるヒアリングをもとに作成

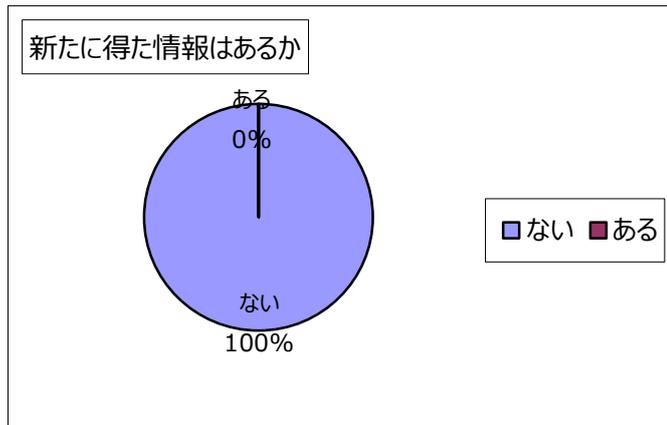
冊子を見てもらう タイミング	良い	良くない
	5	0



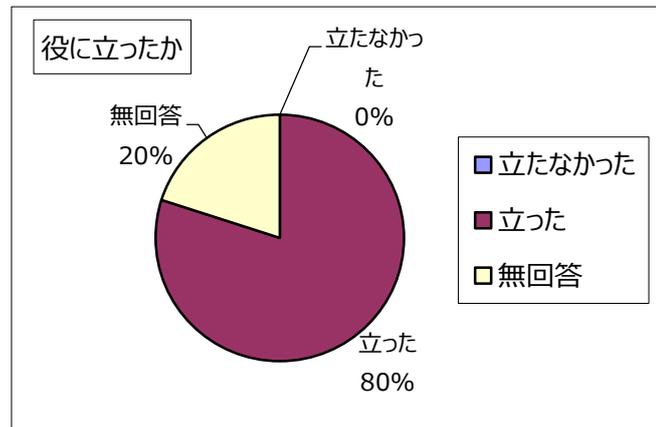
再犯防止に効果 があると思うか	とてもある	少しある	あまりない	全くない
	1	4	0	0



新たに得た情報は あるか	ない	ある
	5	0



役に立ったか	立たなかった	立った	無回答
	0	4	1



【効果検証の結果】

① 被疑者へのアンケート、及び警察官による備考欄の記載内容から (冊子全体の内容理解)

・「内容は理解できた」との回答が 89%と、わかりやすい内容の冊子に仕上げる事ができた。

(万引が重大な犯罪であることへの理解)

・「印象に残ったページ」への回答から、万引きが自分の思った以上に重大な犯罪であること、そして、捕まった後に待っていることのつらさを強く訴求することができた。

(再犯の防止に向けた意識の向上)

- ・今後、「自分の暮らしを見直してみたい」との回答が 91%、そして、「地域の方が集まる場所に行ってみたい」が 88%、「相談先に相談したい」が 50%と今後の再犯防止につながる手応えが得られた。
- ・その場に立ち会った警察官における備考欄の記載内容から、被疑の多くが当該冊子を真剣に読んでいた様子が覗かれた。

(結論)

- ・今回のアンケート結果により、本冊子は高齢者万引きの再犯防止という本プログラムの目的に資する効果を挙げることができたと判断される。

② 警察官へのヒアリングから

(再発防止に対する冊子の効果)

- ・「少し効果がある」4名、「とても効果がある」1名で、実際に万引きの被疑者に対応している警察官の立場からも効果に期待が持てるという回答だった。その回答を選んだ理由としては、「ほとんどの者が反省している様子が伺える」「じっくり読んでいる様子が伺える」といった被疑者の様子が挙げられた。このことから、冊子を渡すタイミングとしては、取り調べ後が効果的であることが裏付けられた。

(万引が重大な犯罪であることへの理解)

- ・冊子の目を引く点としては、2頁の「10年以下の懲役又は50万円以下の罰金」のページが挙がり、被疑者にこのページを見せると「驚き、省みている」という反応の様子が記されていた。

(結論)

- ・冊子の感想(自由記載)では、警察官の側としても「万引きという犯罪についての説明に活用できる」という感想があった。
今後、本冊子の活用をより積極的に進めていくことで、本プログラムの目的のさらなる実現を図っていくことが、現場の警察官からも期待されているといえる。

【課題及び改善】

今後の課題として、警察官のヒアリングにおいて、身柄引き受けに来た家族が真剣に読んでいた様子を見て、「家族にも読んでもらおうと思う」という意見があり、冊子の配布先として家族の重要性が現場の声としても指摘された。

その点を踏まえ、被疑者だけでなく、その家族にもこの問題に目を向けてもらうため、積極的に配布することが求められる。

改善点については、裏表紙について、「生活に関する不安や悩みについての相談先」の表現がわかりづらいという指摘があった。「相談先に相談したい」との回答が50%あったことから、相談先についてよりわかりやすい情報提供をするという課題を踏まえ、裏表紙のデザイン、および「生活に関する不安や悩みについての相談先」の表記を改定した。(別紙5)

一方、表紙以下P7まではアンケートから好評との評価を得ており、改訂の必要はないと判断した。

また、アンケートの(備考)欄について、警察官記載欄と記載することで、対象者へバイアスがかかる可能性があるため策定委員会での指摘を受けて一部表現を変更した。

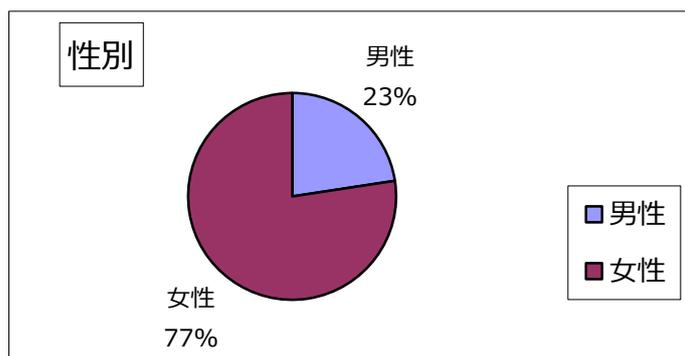
(2) 動画について

【アンケート集計結果】

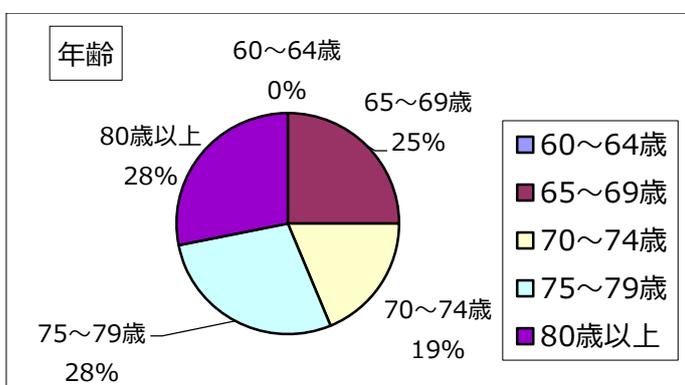
アンケート回答数 33

万引き被疑者に対するアンケートをもとに作成

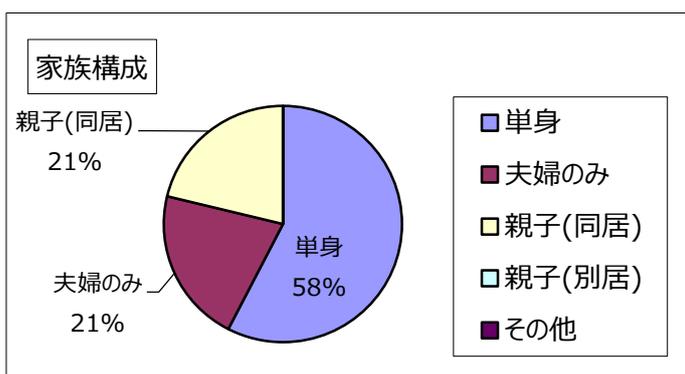
性別	男性	女性	無回答
	7	24	2



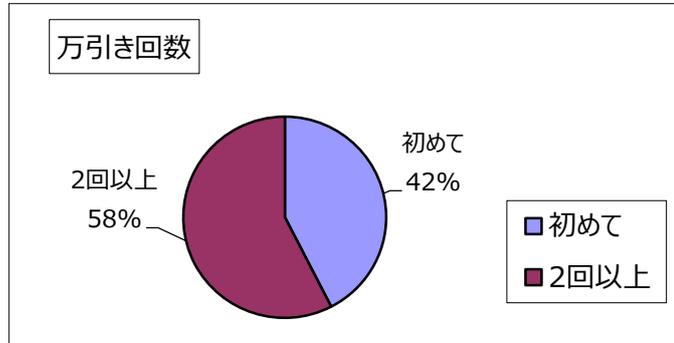
年齢	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上
	0	8	6	9	9
	無回答				
	1				



家族構成	単身	夫婦のみ	親子(同居)	親子(別居)	その他
	19	7	7	0	0

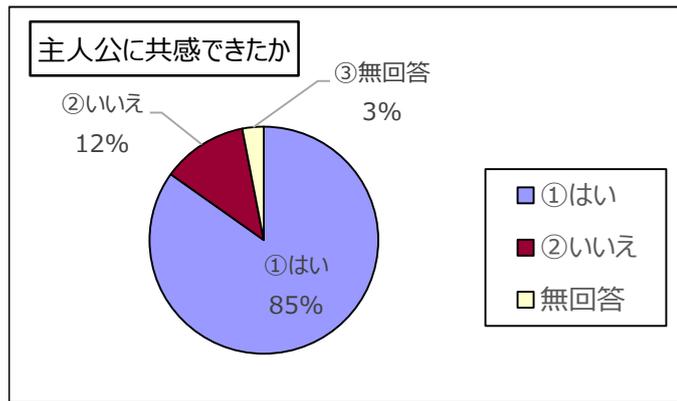


万引き回数	初めて	2回以上
	14	19

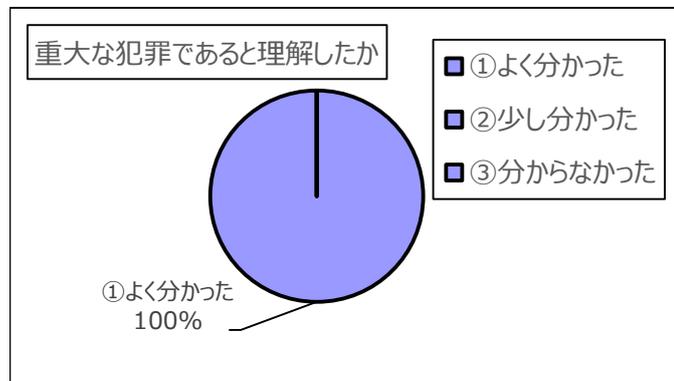


主人公に共感できたか	①はい	②いいえ	③無回答
	28	4	1

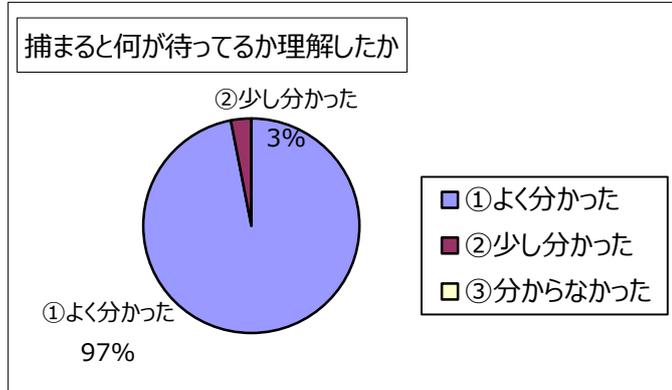
※1名は悩んだ末に回答せず



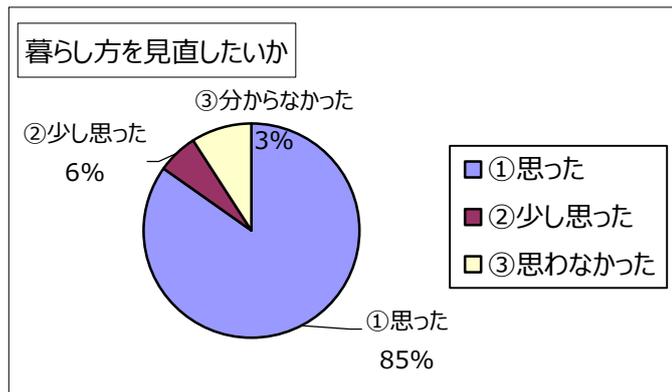
重大な犯罪であると理解したか	①よく分かった	②少し分かった	③分からなかった
	33	0	0



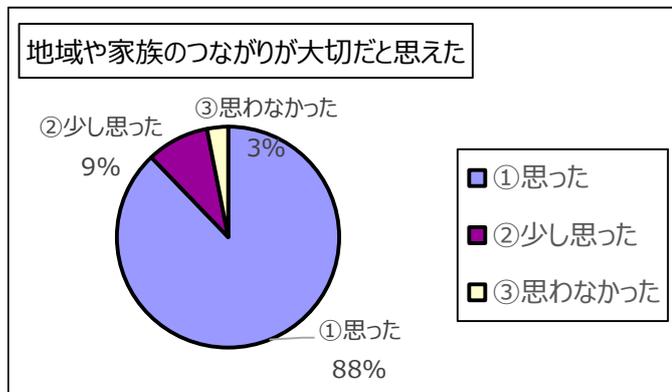
捕まると何が待っているか理解できた	①よく分かった	②少し分かった	③分からなかった
	32	1	0



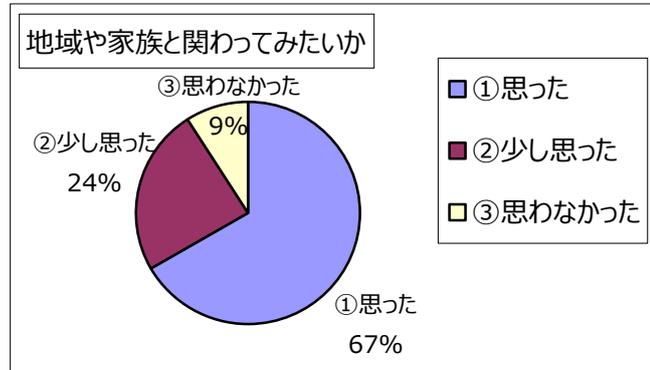
暮らし方を見直したいか	①よく分かった	②少し分かった	③分からなかった
	28	2	3



地域や家族のつながりが大切だと思えたか	①思った	②少し思った	③思わなかった
	29	3	1

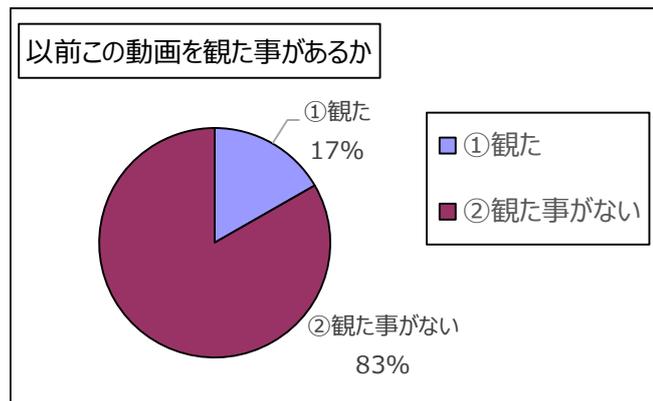


地域や家族と関わってみたいか	①思った	②少し思った	③思わなかった
	22	8	3



以前この動画を観たことがあるか	①観た	②観た事がない
	1	5

※1/15と1/25に追加した当質問に対する4名および2名(計6名)の回答



被疑者のコメント(印象に残ったシーン)

- ・生活費 1名
- ・軽く考えていたが、窃盗だということが判ったこと。 1名
- ・おばあちゃんが家族に謝っていた所。 1名
- ・警察官の方と話している所。 1名
- ・DVDの人は許してもらえたのかな。店の人はすごく怒ってたな。 1名
- ・人間として大変恥ずかしい、何とも言い難い哀れな気持ちで心がふさがれております。 1名
- ・本日の出来事を重要な失敗事として深く深く反省させて頂きました。今日、私に携わって下さった皆様に、心よりお詫び申し上げます。本当に、温かく接して下さい御礼申し上げます。 1名
- ・家族に迷惑・を絶対かけられない。人生真面目に生きていくことです。 1名
- ・最後に主人公と民生員との繋がり言葉。 1名
- ・大変なことをしてしまったと思います。 1名

・万引きは重大な犯罪である。	1名
・どうして？	1名
・自分に対して、ためになりました。	1名
・店長たちのきびしい言葉にしみました。	1名
・私はあの方の言ってる事がよくわかったが、家では出来ない。	1名
・ひとりしていると人生がつまらないと主人公が思ってるのは、一緒の気持ちになった。	1名
・お嫁さんがとても良い人だと思いました。	1名
・年を取ると淋しいと感じるところ。	1名
・何も思わなかった（ぼけてのであろう）	1名

被疑者のコメント(視聴後の感想)

・もう二度としたくない。	1名
・反省しています。	1名
・とてもためになりました。	1名
・改めて、考えさせられました。二度とこの様な事はしないことです。	1名
・私自身が行った犯罪に対して多くの警察官の方々、店の方々にお謝罪するばかりです。	1名
・話し相手もなく淋しいと思いました。	1名
・もう2度と人様にめいわくをかけませんと思います。	1名
・あたたかくむかえてくれた事をうらやましい、私は(不明)にたと思っている。	1名
・知らないことが多くあったので見て良かったと思う。	1名
・わかりやすく良かった。	1名

警察官のコメント(備考欄)

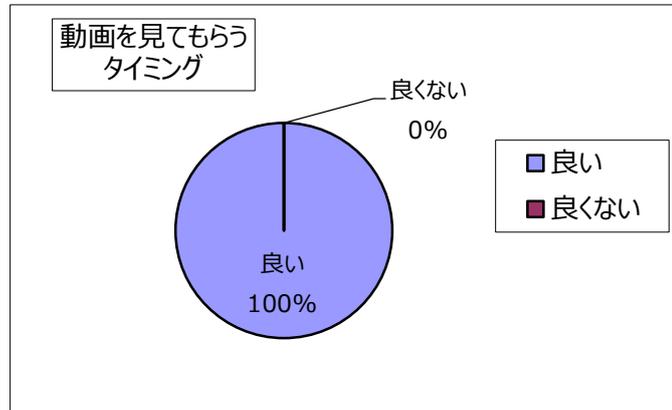
- ・食い入るように、見ていた。(65～69歳)
- ・日々の暮らし方を見直してみようと思いましたかの記載に、悩んでいた。(65～69歳)
- ・DVDの人は許してもらえましたか？の質問に、これはドラマで許してもらえるかはそれぞれと回答。(65～69歳)
- ・対象者は、終始、真剣な表情でDVDを視聴し、アンケート記載中にも、素直に応じて、「もう繰り返しません。」と反省していた。(75～79歳)
- ・質問2の「主人公に共感できましたか」にずっと悩んでいた。(70～74歳)
- ・動画視聴後涙ぐんでいた。(75～79歳)
- ・反省をした様子で見ていた。(年齢無回答者)
- ・一人で淋しいところがあったと申し立てた。(年齢無回答者)

【警察官へのヒアリング集計結果】

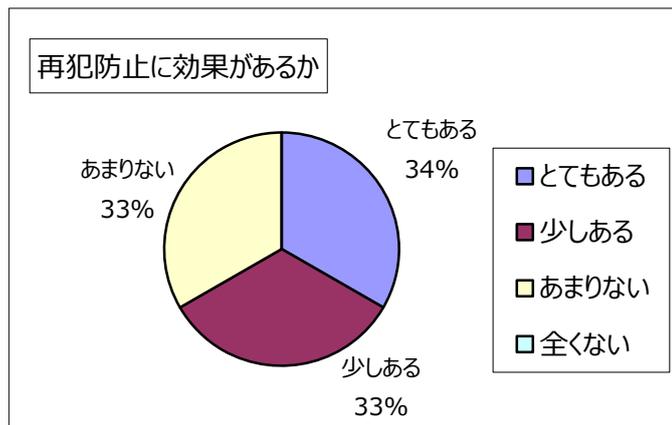
ヒアリング件数 3

警察官への電話によるヒアリングをもとに作成

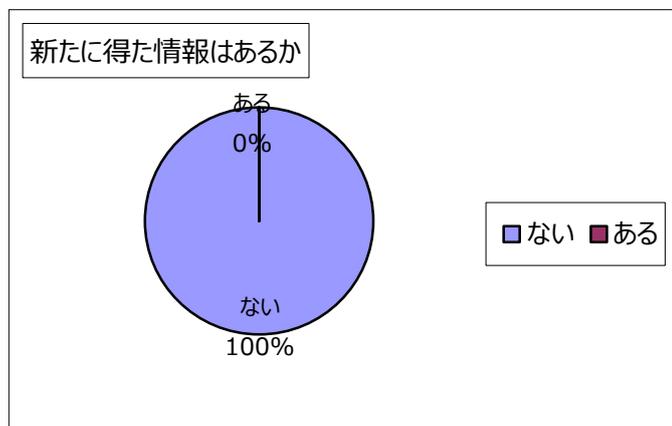
動画を 見てもらう タイミング	良い	良くない
	3	0



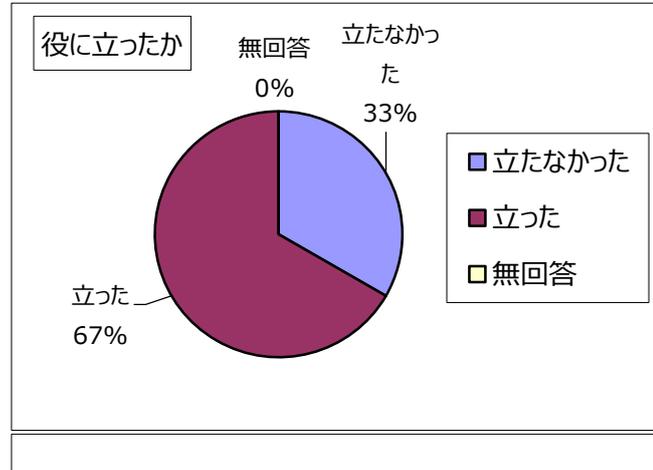
再犯防止に効果 があると思うか	とてもある	少しある	あまりない	全くない
	1	1	1	0



新たに得た 情報は あるか	ない	ある
	3	0



役に立ったか	立たなかった	立った	無回答
	1	2	



【効果検証の結果】

① 被疑者へのアンケート、及び警察官による備考欄の記載内容から (動画内容への共感)

- ・「主人公に共感できたか」の質問に 85%が「はい」と回答。
今回、「単身者編」と「家族同居編」の 2 作品を作成し、被疑者の属性に対応した作品を視聴させたことがこの回答に表れたと思われる。

(万引きが重大な犯罪であることへの理解)

- ・万引きが「重大な犯罪であると理解したか」に 100%が、また「捕まると何が待っているか理解できたか」についても 100%がそれぞれ「はい」と回答しており、万引きが自分の思った以上に重大な犯罪であること、そして、捕まった後に待っていることのつらさを強く訴求することができた。

(再犯の防止に向けた意識の向上)

- ・今後、「自分の暮らしを見直したいか」との質問に 91%が、そして、「地域や家族のつながりが大切だと思った」に 97%、「地域や家族のつながってみたいか」に 91%がそれぞれ「思った」と回答しており、本編ドラマの主人公が家族や周囲の支援も受けながら再犯をしないと思いを新たに作るストーリー仕立ての動画が一定の効果に結びついた。
- ・印象に残った言葉シーンについてのコメント、及び動画についての意見からは、被疑者が興味を示しながら本作品を視聴したことがうかがわれ、万引きをしてしまった主人公に被疑者自身が自分自身を重ね合わせながら、罪の重や逮捕後の生き方を疑似体験してもらおうという本動画が、再犯防止に資するツールとして有効に機能しているといえる。

(結論)

- ・今回の効果検証により、本動画は高齢者万引きの再犯防止という本プログラムの目的の資する効果を上げることで判断される。

② 警察官へのヒアリングから

(再犯防止の視聴効果)

- ・「とても効果がある」1名、「少し効果がある」1名、「あまり効果がない」1名。冊子に比べて回答数が少ないため、拙速な評価はできないが、効果について肯定的な評価が2/3を占めた。
- ・効果が「ある」を選んだ理由としては、冊子と同様に、「しっかりと視聴している様子が伺える」といった被疑者の様子や「少しでも良心がある者には響くと思う」という回答があった。「あまり効果がない」を選んだ理由としては、生活困窮者や独居が多い、ケースワーカーの支援を受けている者がほとんどという地域性が挙げられた。

(動画に対する感想)

- ・警察官自身が気に入ったシーンとして、家族や保護司が身柄引受にくる場面が挙げられた。

(結論)

- ・「少しでも良心がある者には響く」という警察官の回答から、再犯防止に対して動画の視聴は一定の効果が期待される。

【課題及び改善】

今後の課題として、より多くの高齢者の万引き被疑者に視聴してもらうため、警察署へのDVDプレーヤーの追加配布や、タブレットなどの端末で視聴できるよう視聴環境の整備等が挙げられる。アンケート結果を踏まえ、今後動画の活用をより積極的に進めていくことで、本プログラムの目的のさらなる実現を図ることが期待される。

一方で、生活困窮者による万引きの再犯を減らすには、動画視聴では効果に限界があり、プログラム策定委員会でも指摘がなされよう、福祉的な困窮者対策の必要性が考えられる。

また、動画の被疑者以外への活用方法として、高齢者を対象とした団体の職員研修が挙げられたことから、地域包括支援センター等への活用範囲の拡充が求められる。

5. 考察

(1) 冊子について

今回の効果検証により、本冊子は高齢者万引きの再犯防止という本プログラムの目的に資する効果を挙げることができた。

現状を踏まえ、今後本冊子の活用をより積極的に進めていくことで、本プログラムがめざす目的のさらなる実現を図ることが求められる。

(2) 動画について

視聴の数は少ないが(アンケートは継続中)今回の効果検証により、本動画は高齢者万引きの再犯防止という本プログラムの目的の資する効果を上げることができた。何より、「主人公に共感できた」という声と幾つか記憶に残るシーがあったと答えていた。

現状を踏まえ、今後動画の活用により積極的に進めていくことで、本プログラムが目指す目的のさらなる実現を図ることが求められる。

(3) 更なる活用範囲の拡充について

既に、秦野市地域高齢者センターでは犯罪を起こした高齢者対策として、「犯罪を犯してしまう高齢者(万引き行動)」をテーマに、高齢者万引き再犯防止プログラムを通じて制作した動画を活用しての職員研修を実施している。

また、全国スーパーマーケット協会の神奈川県会員企業 15 社(店舗数 446)において、個店ごとに高齢者の万引き実態は把握しているものの、全体としての実態把握ができていないという現状を踏まえ、高齢者万引き防止プログラムを通じて制作した冊子・動画活用の啓蒙を会員企業に行いたいという動きもあり、活用範囲の拡充に向けた取組みは始まろうとしている。

今後は、県内の民間企業、公共機関、大学・短大の教育機関や福祉系の専門学校等の協力体制を図り、データの蓄積をもとに、一人一人に向き合い対策を講じることが重要課題となる。

拡充対象:

県内の公共施設

- ・地域包括支援センター
- ・社会福祉協議会
- ・民生委員児童委員協議会
- ・保護司会

県内市町村の地域組織

- ・町内会(自治会)

県内の教育機関

- ・大学

- ・短大
- ・福祉系専門学校

県内の民間企業

- ・スーパーマーケット
- ・コンビニエンスストア
- ・ドラッグストア
- ・警備会社

(4) 今後の展望について

今後は、高齢者万引き再犯防止プログラムの更なる活用範囲の拡充に務めるとともに、その成果を県外に移出していく可能性についても検討の余地があると思われる。

また、コロナ禍における高齢者の万引き実態を踏まえ、再犯率の変化を含めた被疑者の行動変容を把握しつつ、「コロナ後」を見据えた新たな高齢者万引き再犯防止対策についても検討が求められると思われる。

以上